

2023年度 第1回

書道教育実践研究講座

「書道教育実践研究講座（2023年度第1回）」を開催します。今回も教員の方を対象に、高等学校書道の授業づくりに関わる課題を取り上げ、意見交換を中心に進めていきます。

内容は下記のとおりです。本学卒業生以外の方のご参加も歓迎いたします。申し込みは当日まで可能です。

日 時：2023年7月29日（土）15:00～17:00

会 場：安田女子大学7号館3階 7306教室

内 容：1. 実践報告「散らし書きの学習から得たもの」

岡田 彩先生（広島県立府中東高等学校教諭）*本学卒業生

散らし書きは行頭行尾の高さを変えたり、文字を散らしたりする書き方のことである。もとは仮名消息において自然発生的に書かれるようになったと考えられる。その後、「美」を意識することで三色紙に見られる多彩な表現となっていく。

散らし書きのパターンは無限で、高校生にとっては答えのない課題である。自分ならではの構成を考えることは、生徒の思考力・判断力・表現力の育成に関わる。今回は、料紙の装飾との調和について取り上げ、得られた成果を報告します。

2. 実践報告「書写から書道への接続的単元の開発」

一教育実習生への指導を通して一

藤井直子先生（広島県立福山明王台高等学校教諭）*本学卒業生

横山実紅さん（本学書道学科4年）

1年生の授業作品は、毎年6月に行われる文化祭で発表する。全員分を展示するため、半紙サイズ以下に制限されるが、生徒一人一人の良さが伝わる作品にしたい。自己紹介的な要素を取り入れ、書きぶりと内容とで伝わるようにできないか。

横長の色紙を用意し、名前から篆書で一文字書き、さらに、中学校書写の配列・配置の学習を生かしつつ、友人や家族への取材から得た自分についてのコメントを小筆でしたためた。今後、書道への導入教材として相応しい教材になるようブラッシュアップしていきたい。教育実習生と工夫した実践をもとに意見交換をお願いします。

参加費：無 料（要申込）

申 込：大学HP内「書道学科ニュース」または2次元バーコードからお申し込みください。

2次元バーコードは下図参照。

問合せ：安田女子大学文学部書道学科事務室（田畑）

TEL・FAX 082-878-7725

MAIL shodo.box@yasuda-u.ac.jp

▼参加申込みはこちらから▼

